

自動車100年に一度の大変革を起こすと言われている “CASE”の現在地

2016年にダイムラーのディーター・ツェツェ社長が提唱したCASEが6年たった現在、
どこまで実現されているかを確認する



自動運転車の市場投入状況@2022

- 誤解されることが多いが、テスラもレベル2に定義される
- レベル2の中でハンズフリーが可能な車種は増えている



- 自動運転と定義できるレベル3以上を搭載した車は世界でもごく少数
- レベル4~5はまだまだ技術的課題が多く、当面は無理という見解も多い

2022年生産終了

レベル0
運転自動化なし

レベル1
運転支援

レベル2



運転支援 (ADAS)



レベル3
条件付
運転自動化



レベル4
高度
運転自動化



レベル5
完全
運転自動化

自動運転 (AD)

ADAS : Advanced Driver Assistance Systems

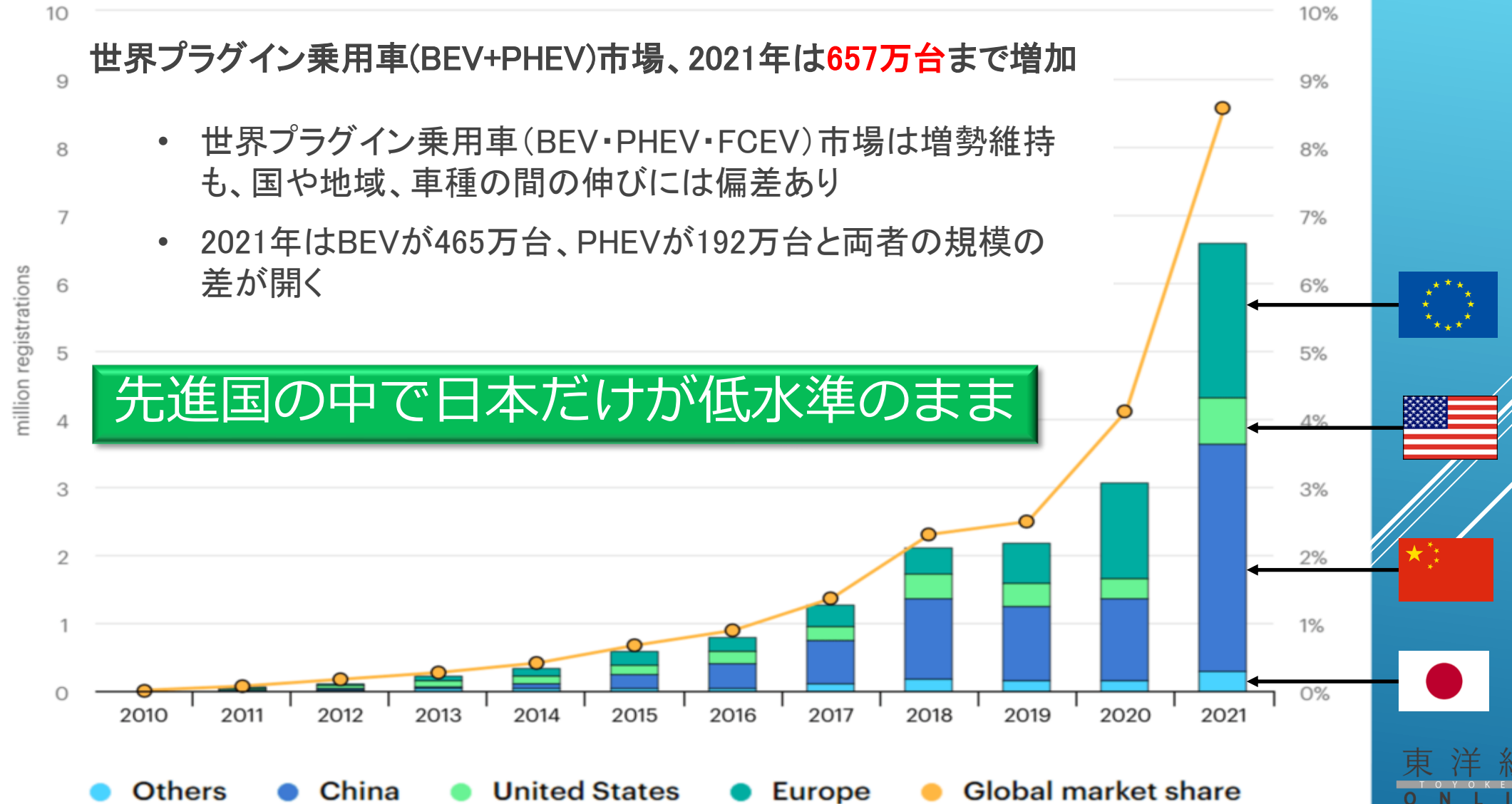
EVの市場投入状況@2022

世界のEV販売台数は中国、欧州で着実に増加し、米国で増加の兆しがある

世界プラグイン乗用車(BEV+PHEV)市場、2021年は**657万台**まで増加

- 世界プラグイン乗用車(BEV・PHEV・FCEV)市場は増勢維持も、国や地域、車種の間には偏差あり
- 2021年はBEVが465万台、PHEVが192万台と両者の規模の差が開く

先進国の中で日本だけが低水準のまま



Connectedの市場投入状況@2022

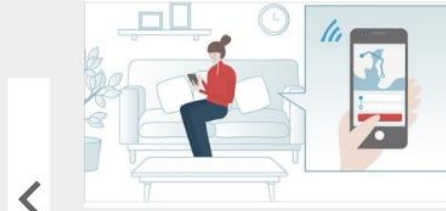
スマホ+αの機能レベル

自動車がインターネットと“Connected”

- それぞれの稼働状況をリアルタイムで捉えることができます。
- ならば、空いている時間をお互いに融通し合えば、今ほどたくさんの車はいらなくなります。つまり“Shared”が実現するのです。
- スペースの効率化や地球資源の有効活用の視点からも、また利用者の経済的な負担の削減や、公共交通機関と異なる個人で自由に目的地へ移動できる利便性も、“Shared”を普及させることになるでしょう。

“C”本来の目的には、
まだほど遠い

もっと快適



【ドアtoドア ナビ】

家にいながらスマホでルート設定。移動中はカーナビ、降車後はスマホで誘導。



【乗る前エアコン】

出発時から車内は快適！スマホアプリで事前にエアコンをON。



【OTA自動更新】

ディーラーでの地図更新は不要！簡単操作で、更新可能。無線通信が届けてくれる最新の地図とソフトウェア。

もっとワクワク



【docomo in Car Connect】

高速Wi-Fi使い放題！車内がいつでも、映画館やライブ会場、オフィスに。



【Apple CarPlay / Android Auto™】

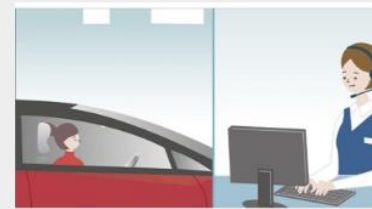
スマホをつなげて、ナビの画面で音楽の再生や音声通話を。



【その他のお役立ち機能】

もっとワクワクするようなお役立ち機能が、他にも盛りだくさん！

もっと安心



【SOSコール】

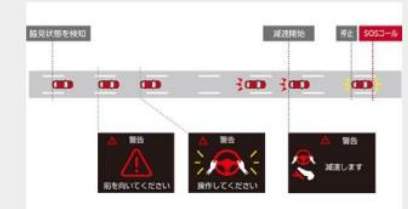
あおり運転などの緊急時、スイッチを押すだけでつながる、専門オペレータが対応！

詳しくはこちら >



【プロパイロット緊急停止支援システム (SOSコール機能付)】

プロパイロット走行中に意識を失ったら？緊急事態発生時には、自動停止。そして、自動通報機能が作動！



【プロパイロット 2.0緊急停止支援システム (SOSコール機能付)】

ハンズオフを実現したプロパイロット 2.0。では、走行中に意識を失ったら（居眠りをしたら）？警告後に自動停止、自動通報機能が作動！

Sharingの市場投入状況@2022

CAR2GOの広がり

CAR
2GO

- ドイツのレンタカー会社でダイムラーベンツの子会社
- 欧州、米国、アジアでカーシェアリングサービスを展開
- 2017年7月時点で会員数2,500,000人、26都市にフリート車両14,000台を有し、世界最大規模
- 料金は時間制(\$15~\$19/時)
- スマホで予約し、乗り捨てOK



メンバーカード読み取り器



縮小傾向

2020.2 ダイムラーとBMWの統合カーシェアサービス、志半ばで北米撤退
20年2月以降はヨーロッパの18都市のみでのサービス展開にする

- 車はまだ「所有するもの」という考え方が支配的
- 自動運転レベル5の実現にはまだまだ時間がかかりそう